

我商法ハ其第二ノ主義ヲ採用シタルコトハ第六百七十八條ノ規定ニ依リテ明瞭ナリトス斯ノ如ク人ハ自己ノ生命又ハ健康ニ付キ有効ニ保險契約ヲ取結ヒ得ルノミナラス他人ノ生命又ハ健康ニ付テモ苟モ金錢上ノ利益ヲ有スル場合ニ於テハ猶ホ自己ノ生命又ハ健康ヲ保險ニ付スルト同一ニ其利益ノ額ヲ限リテ保險ニ付スルコトヲ得ヘキモノトス而シテ法律上別ニ證明ヲ要セスシテ當然金錢上ノ利益ヲ有スルモノト看做ス場合アリ即チ左ノ如シ

第一、配偶者 配偶者ハ法律上互ニ相扶ケ相養フヘキ義務アルノミナラス其間ノ關係甚ダ親密ニシテ殆ント同一體ヲ成スモノナリ從テ夫ノ生活上ノ利益ハ直接ニ妻ノ生活上ノ利益ト爲リ夫カ相當ノ地位ヲ得ルトキハ妻モ亦之ニ伴フテ相當ノ地位ヲ得ヘシ之ト同シク妻ノ生活上ノ利益ハ亦夫ノ生活上ノ利益ト爲ルヘキヲ以テ配偶者ハ特ニ相互ニ金錢上ノ利益アルコトヲ證明セサルモ法律上ニ於テ互ニ他ノ生命又ハ健康ニ付キ金錢上ノ利益ヲ有スルモノト看做スナリ故ニ又相互ノ生命又ハ健康ニ付テ保險契約ヲ取結フコトヲ得ヘシ

婚姻契約ヲ取結ヒタル男女即チ俗ニ所謂許嫁者ハ相互ニ他ノ生命若クハ健康

ニ付キ保險契約ヲ取結フコトヲ得ル乎換言セハ此場合ニ於テハ相互ニ被保險利益ヲ有スル乎ト云フニ保險法上何等ノ明文ナシ從テ普通民法ノ原則ニ依リテ之ヲ決セサルヘカラス故ニ究竟其之ヲ許シ又ハ許ササルハ一ニ民法上婚姻契約ハ果シテ何等ノ効力アルヤノ問題ニ歸着スヘシ英法ニ依レハ婚姻契約ノ當事者ノ一方カ違約シタルトキハ他ノ一方ハ之ニ對シテ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ルカ故ニ婚姻契約ノ當事者ハ相互ニ他ノ生命上ニ金錢上ノ利益ヲ有スルモノトス從テ他ノ當事者ノ生命ニ付キ保險契約ヲ取結フトキハ其契約ハ有効ナルモノトモリ然レトモ獨逸法ニ於テハ此ノ如キ保險契約ハ其効ナキモノトス蓋シ是レ民法上ノ規定ニ基キタルモノナリ本邦ニ於テハ婚姻契約ハ當事者一方ノ自由ニ之ヲ解除スルヲ得ルノミナラス縱令違約スルモ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス換言セハ民法上婚姻契約ノ効力ヲ認メサルヲ以テ此等ノ當事者ハ相互ニ他ノ生命ニ付キ保險契約ヲ取結フコトヲ得サルモノトス

第二、兄弟姉妹 兄弟姉妹ハ父若クハ母ヲ異ニスルモノナルモ又ハ養子縁組上ノ兄弟ナルモ又ハ同居スルト否トチ間ハス何レモ相互ニ他ノ生命若クハ健康

ニ付キ被保險利益ヲ有ス蓋シ兄弟姉妹ハ通常相愛ノ情厚シ若シ貧困ニ陥リタル場合ニハ相互ニ養育スルノ義務アルカ故ニ殊ニ財産上ノ利益ヲ有スルコトヲ證明セサルモ相互ニ他ノ生命ニ付テハ保險契約ヲ取結フコトヲ得ルモノナリ然レトモ此點ニ付テハ各國法律必スシモ同一ナラス英米ノ法律ニ依レハ兄弟姉妹ト雖モ特ニ財産上ノ利益ヲ有スルコトヲ證明セサレハ其効力ヲ認メサルコト、ナセリ

第三、父子其他ノ尊屬親及ヒ卑屬親 此等ノ者ハ相互ニ生命又ハ健康ニ付キ被保險利益ヲ有ス蓋シ本邦ノ慣習ニ於テハ尊屬親ト卑屬親トノ關係ハ極メテ親密ニ又極メテ情愛ニ富ミ德義上及ヒ法律上ノ權利義務ハ頗ル重大ナルモノナリ故ニ尊屬親ト卑屬親トノ間ハ相互ニ他ノ生命若シハ健康ニ付キ保險契約ヲ取結ヒ得ルコト殆ント疑テ容レサル所ナリ然ルニ今翻テ各國ノ法制ヲ通覽スルニ親子ノ關係ハ決シテ我國ノ如ク親密ナラサルカ故ニ果シテ親ハ子ノ生命ニ付キ又子ハ親ノ生命ニ付テ相互ニ被保險利益ヲ有スルヤ否ヤハ大ニ議論ノ存スル所ナリ古代ニ於テハ親子ノ間ニハ相互ニ金錢上ノ被保險利益ヲ有セザ

ルモノトセリ然ルニ後世ニ至ルニ及ヒ漸次之ヲ寛大ニ解釋シテ親ト雖モ子カ未成年ノ間ハ子ノ收益ヲ取得スルノ權アリテ親ハ未成年ノ子ノ生命ニ付テハ保險契約ヲ取結ヒ得ルモノトセリ而シテ若シ成年ニ達シタル子ノ生命ノ爲メニ保險契約ヲ取結ハントスルトキハ親ハ其子ノ生命ニ付キ金錢上ノ利益ヲ有スルコトヲ證明セサルヘカラス例ヘハ子カ成年ニ達スルモ父ハ僅少ノ貯蓄モナシ且ツ甚シク老衰シテ自ラ生活ヲ爲ス能ハサル場合ニハ子ハ父ニ養料ヲ給スルノ義務アリ從テ斯ル場合ニ於テハ父ハ子ノ生命ニ對シテハ金錢上ノ利益ヲ有スルカ故ニ保險契約ヲ取結フコトヲ得ヘキカ如シ之ニ反シテ子カ父ノ生命ヲ保險ニ付スルニ付テハ頗ル寛大ノ方針ヲ採リ子ハ父ノ生命ヲ保險ニ付スルコトヲ許セリ約言セハ子ハ父ノ生命ヲ保險ニ付スルコトヲ得ルモ父ニシテ子ノ生命ヲ保險ニ付スルトキハ特ニ被保險利益ヲ證明スヘキモノトセリ然レトモ近世ニ至リテハ此等ノ諸外國ニ於テモ法律上親子間ニハ相互ニ養料ヲ給スルノ義務アルコトヲ認ムルノミナラス斯ル近親間ニハ德義上ノ觀念ト自然ノ愛情ト次第ニ厚キヲ加ヘ法律ノ規定ナキモ尚ホ相互ニ養料ヲ給スル義務アリ

ルコトヲ認メ從テ親子間ニハ相互ニ被保險利益ヲ有スルモノトシ復タ曩時ノ不權衡ヲ見サルニ及ヘリ而シテ米國ノ如キハ我邦ト同シク親子其他ノ尊屬親及ヒ卑屬親ハ相互ニ他ノ生命ニ付キ被保險利益ヲ有スルモノトシ成文法ヲ以テ之ヲ規定スルニ至レリ

以上述ヘ來リタル所ハ金錢上ノ利益ヲ有スルコトヲ特ニ證明セサルモ法律上當然被保險利益ヲ有スルモノト看做シ且ツ相互ニ他ノ生命又ハ健康ニ付テ保險契約ヲ取結フコトヲ得ル場合ヲ舉ケタルモノナリ尙ホ以下特ニ證明ヲ要スヘキ重ナル場合ヲ舉ケテ之ヲ説明セントス

第四、債權者　モ亦債務者ノ生命若クハ健康ニ付テ被保險利益ヲ有スルカ故ニ保險者ト被保險契約ヲ取結フコトヲ得何トナレハ法律ハ債務者ニシテ生命ヲ保有シ健康ヲ保持スルトキハ債權者ハ其債權ノ辨濟ヲ受クル希望極メテ確實ナルモ之ニ反シテ債務者ニシテ死亡スルコトアラン乎其債權ノ辨濟ヲ受クヘキ希望殆ント皆無ニ屬スヘシト看做セハナリ未成年者ニ金錢ヲ貸與シタル債權者ハ債務者タル未成年者ノ生命若クハ健康ニ付テ被保險利益ヲ有スルヤ否

ヤハ幼者ノ契約ハ民法上如何ナル効力アリヤノ問題ニ歸着スルナリ我國ノ舊民法並ニ現行法ニ依レハ幼者ト取結ヒタル契約ハ單ニ取消シ得ヘキモノダレニ過キス故ニ債權者ハ幼年者ノ生命若クハ健康ニ付キ被保險利益ヲ有スルコトハ右ノ原則ヨリ生スル當然ノ結果ナリ然レトモ英法ノ如ク幼者ノ取結ヒタル契約ハ全然無効ナリトスル法律ノ下ニ於テハ債權者ハ幼者ニ對シテ債權ヲ有スルコトヲ得サルモノナレハ從テ又其生命ニ付キ被保險利益ヲ有セサルモノト云ハサルヘカラス次ニ出訴期限ヲ經過シタル債權者ハ債務者ノ生命ニ付キ被保險利益ヲ有スルヤ否ト云フニ是レ亦出訴期限ノ効力如何ニ因リテ決定スルモノナリ若シ夫レ出訴期限ノ効力ハ時効ト同一ノモノナリトセハ期限經過ノ後ハ債權全ク消滅ニ歸スルヲ以テ債權者ハ債務者ノ生命ニ付キ何等ノ利害ノ關係ヲモ有セス故ニ若シ既成商法ニシテ實施セラルトキハ此等ノ場合ニ於テ債權者ハ債務者ノ生命ヲ保險ニ付スルコトヲ得サルナリ之ニ反シテ出訴期限ノ經過ハ單ニ出訴ノ權利ヲ消滅セシムルニ過キストセハ債權者ハ債務者ノ生命ニ付キ被保險利益ヲ有スルヤ論ヲ俟タス

第五、組合員 組合員ノ生命若クハ健康ハ相互ニ他ノ組合員ノ利害ニ影響ヲ及
ホスモノナリ從テ組合員ハ他ノ組合員ノ生命若クハ健康ニ付キ相互ニ被保險
利益ヲ有ス

第五節 保險契約ノ無効及ヒ解除

保險契約
無効及
解除

(第一) 保險ニ付シタル生命若クハ健康カ保險契約取結ノ當時ニ於テ既ニ存在セ
サルトキハ其契約ハ無効ニ歸スルモノナリ但保險申込人カ其事實ヲ知ラサル
トキハ有効トス
元來保險法ノ原則ニ依レハ既ニ述ヘタルカ如ク當事者雙方カ危險ノ既ニ存在
スルコトヲ知ラス且ツ既ニ危險發生シタルモ有効タルヘキ旨ヲ明示シテ契約
ヲ取結ラニアラサレハ契約ノ當時既ニ發生シタル危險ニ對スル保險ハ當然無
効ニ歸セサルヘカラス然ルニ生命保險ノ場合ニ於テハ保險申込人カ其事實ヲ
知ラサルトキハ契約ハ有効ニシテ當事者ノ特ニ明約スルヲ要セサルナリ然ラ
ハ斯ル例外ヲ設ケタルハ果シテ如何ナル理由ニ依ルヤト云フニ蓋シ生命保險
ハ普通保險ノ性質ノ外ニ臆算方法ニ基ク資本積立ノ性質ヲ有シ而シテ此性質

ハ死亡又ハ病傷ニ何等ノ關係ヲ有スルモノニアラス加之普通保險ハ專ラ將來
ニ生スヘキ損害ヲ主眼トシテ取結フヘキモノナルカ故ニ當事者カ特約ヲ取結
フニアラサレハ既ニ發生シタル損害ハ保險者ノ負擔ニ歸スヘキモノニアラサ
レトモ生命保險ハ他ニ貯金ノ性質ヲ帶フルカ故ニ保險申込人ニ惡意ナキ以上
ハ其缺點ヲ補フニ足ルヘシ是レ特ニ當事者ノ明約ヲ必要トセサル所以ナリ

(第二) 被保險者カ已ムヲ得サルニアラスシテ任意ニ加ヘタル損害又ハ被保險物
ノ性質固有ノ瑕疵等ニ因リ直接ニ生スヘキ損害ハ保險者之ヲ負擔スヘキモノ
ニアラス然レトモ此原則ハ生命保險ニハ直チニ之ヲ適用スルコトヲ得ス
抑モ人ノ死亡又ハ病傷ハ遺傳ニ因ルニアラサレハ多クハ過失若クハ輕忽ヨリ
生スルモノニシテ全ク老衰ニ因リテ天命ヲ終ル者ノ如キハ極メテ稀少ノコト
ニ屬ス故ニ人ノ死亡若クハ病傷ハ多クハ已ムヲ得サルニアラスシテ自己カ任
意ニ加ヘタル原因ニ由ルカ又ハ生命固有ノ性質並ニ瑕疵ニ因ルモノト云ハサ
ルヲ得ス然ルニ若シ保險ノ普通原則ヲ生命保險ニモ適用スルモノトセハ保險
者ハ殆ント總テノ場合ニ於テ其賠償ノ責ヲ免カル、コト、ナルヘク生命保險

ハ結局其効力ヲ見サルニ止マンノミ是ヲ以テ我商法第六百八十二條第二號ハ特別ノ規定ヲ設ケタリ曰ク生命若クハ健康ヲ保險ニ付シ又ハ付セシメタル者カ契約上負擔シタル義務ニ違反シ又ハ放蕩粗暴其他故意ノ所爲ニ因リテ生命ヲ短縮若クハ健康ヲ毀損シタルトキハ保險契約ハ無効ナリ下今此法文ニ依レハ保險契約ハ取結ノ當初ヨリ無効ナルカ如キモ其精神トスル所ハ唯タ保險者ハ賠償ノ責任ヲ免カルト云フニ在ルナリ左ニ之ヲ分説スヘシ

(一) 契約上負擔シタル義務ニ違反シ爲メニ生命ヲ短縮シ若クハ健康ヲ毀損シタル場合 保險當事者ハ特約ヲ以テ妄リニ大洋ヲ航行セサルコト又ハ軍夫ト爲リテ戰地ニ赴カス其他鑛山ノ工夫ノ如キ生命ヲ危フスル職業ニ從事セサルコトヲ約スルコトアリ此等ノ契約ヲ締結シタル以上ハ被保險者ハ勿論之ヲ遵守スルノ義務アルモノナリ故ニ若シ之ニ違背シ爲メニ生命ヲ失ヒ又ハ健康ヲ毀損セル場合ニ於テハ保險者ハ素ヨリ其損害ヲ賠償スルノ義務ナシ

(二) 被保險者カ放蕩粗暴其他故意ノ所爲ニ因リテ生命ヲ短縮シ又ハ健康ヲ毀

損シタル場合 放蕩トハ廣ク之ヲ解スルトキハ學術ニ耽リテ寢食ヲ廢スルカ如キモ亦之ニ包含ス然レトモ茲ニ所謂放蕩トハ斯ル意義ニアラスシテ下等ナル情慾ヲ恣ニスル者ヲ總稱シ暴食暴飲ノ如キモ亦之ニ含蓄セラル、モノトス斯ル所爲ニ因リテ生命ヲ失ヒ又ハ健康ヲ傷ケタルトキハ保險者ハ損害ヲ賠償スルノ義務ナシ草案起稿者ロエスレル氏ハ放蕩ノ説明ヲ下シテ曰ク「一回若クハ偶成ノ放蕩ハ之ヲ算入セス唯タ習癖ト爲リタル放蕩ノミヲ指ス」ト然レトモ法文上ノ解釋トシテハ斯ル區別ヲ認ムルコト能ハサルノミナラス偶成ノ放蕩ハ却テ生命ヲ短縮シ又ハ健康ヲ毀損スルノ原因タルコト屢々實見スル所ナリ而シテ夫ノ習癖ト爲リタル放蕩因果シテ死亡若クハ病傷ノ原因タルヤヲ定ムルハ極メテ容易ノ事ニアラス故ニ立法上ヨリ之ヲ論スルモ斯ノ如キ區別ヲ爲スハ決シテ其當ヲ得サルモノトス又英米ノ判決例ニ依ルモ決シテ一時ノ放蕩ト習癖ノ放蕩トノ間ニ這般ノ區別ヲ認ムルコトナシ苟モ死亡又ハ病傷ノ主タル原因ト爲リタル放蕩ハ保險者ノ義務ヲ釋免スヘキモノトセリ又英米ノ一判例ニ曰ク「保險者ハ被保險者カ其死亡ノ以前ヨリ長

年月間放蕩ノ習癖アリシコトヲ證明スルモ未タ以テ其責任ヲ釋免セシムルニ足ラス斯ル習癖ハ多少生命ヲ短縮シ健康ヲ毀損スルノ傾向ヲ有スルコトハ疑ナキモ之ヲ以テ直チニ被保險者請求權ヲ喪失スルモノトセハ實ニ生命保險ハ半文錢ニタモ値ヒセスト謂フヘシト故ニ余ハ保險者ニシテ賠償ノ責任ヲ免カレント欲セハ必ス其放蕩カ死亡若クハ病傷ノ主タル原因タリシコトヲ證明セサルヘカラサルコトヲ信ス換言セハ此死亡ト放蕩ノ間ニハ明瞭ナル關係アリテ死亡ハ放蕩ヨリ生シタルモノナルコトヲ相當ニ推測シ得サルトキハ保險者ハ其責任ヲ免カル、コト能ハス且ツ又此死亡ノ原因タリシ放蕩ハ全ク被保險者ノ任意ニ出テタルモノナラサルヘカラス故ニ醫師ノ勸告ニ因リテ多量ノ酒ヲ飲ミ之カ爲メニ死亡スルコトアルモ又夫ノ感冒ニ罹リ爲メニ死亡スルコトアルモ是レ故意ニ出テタルモノニアラサルカ故ニ保險者ハ決シテ其責任ヲ免カル、コトヲ得サルナリ

粗暴其他故意ノ所爲トハ相當ノ理由ナクシテ輕忽ナル故意ノ所爲ヲ云フ例ヘハ巨額ノ償金ヲ待ントシテナイヤガラノ瀑布ノ下ヲ遊泳スルカ如キ所爲

ハ素ヨリ自殺スルノ意思アリト推測シ得サルモ是レ極メテ無法ナル輕忽ノ所爲ナルカ故ニ若シ之カ爲メニ死亡スルモ保險者ハ賠償ノ責ヲ免カルヘシ然レトモ夏期ニ於テ平素遊泳ノ心得アル者カ隅田川ノ中流ヲ横斷スルモ是レ決シテ粗暴ノ所爲ト云フヲ得ス故ニ若シ誤テ溺死スルコトアルモ保險者ハ賠償ノ責任ヲ免カル、コトヲ得サルナリ要スルニ其粗暴ノ所爲ナリシヤ否ハ裁判官カ事實ヲ調査シタル上ノ決定ニ任スヘキモノナリ

(三) 重輕罪ヲ犯シタル所爲ニ因リ死亡若クハ病傷ヲ招キ又ハ決闘自殺等ノ爲メニ死亡ヲ招キタル場合 此場合ニ付テモ保險者ハ何等ノ責任ナキモノトス尙ホ場合ヲ別テ之ヲ論究スヘシ

(甲) 生命ヲ保險ニ付シタル者カ有罪判決ニ依リ直接ニ死亡若クハ病傷ヲ招キ又ハ其原因カ有罪判決ノ執行中ニ生シタル場合 此場合ニ於テハ保險者ハ賠償ノ責任ナキモノトス是レ我商法第六百八十二條第三號ノ規定スル所ナリ例ヘハ死刑ノ判決ヲ言渡サレ其執行ニ因リテ絞首セラレタルトキハ保險者ハ勿論賠償ノ責任ヲ免カルヘク若シ又死刑ノ宣告ヲ受ケタル

者カ未タ刑ヲ執行セラレサル以前ニ於テ死亡スルコトアルモ保險者亦其責任ヲ免カル、モノトス禁錮若クハ懲役ノ刑ヲ受ケタル者カ其刑ノ執行中ニ死亡若クハ病傷ニ罹リタルトキハ保險者亦其責任ヲ負フコトナシ是レ我法文上至當ノ解釋ナリトス然レトモ死刑ノ判決ヲ受ケタルニアラスシテ唯々禁錮若クハ懲役ノ刑ヲ受ケテ在獄中疾病ニ罹リ若クハ死亡シタルノ故ヲ以テ保險者ノ總テノ義務ヲ免脱セシムルハ頗ル嚴格ニ失スルナキ乎ヲ疑フモノニシテ其理由ノ存スル所ヲ見サルナリ

(乙) 死亡若クハ病傷カ重罪若クハ輕罪ヲ犯シタル直接ノ結果トシテ生シタル場合 此場合ニ於テモ保險者ハ其危險ヲ負擔スル義務ナシ例ハ強竊盜カ所有者ノ爲メニ殺傷セラレ或ハ追跡セラレテ逃亡スル爲メニ二階ヨリ地上ニ飛下シテ身體ヲ毀傷シ或ハ爆裂彈ヲ投シテ人ヲ殺傷セントシ却テ自己ノ身體ヲ毀傷シタルカ如キ場合ニ於ケル死傷ハ畢竟犯罪ノ直接ノ結果トシテ生スルモノナルカ故ニ保險者ハ其損害ヲ賠償スルノ責ナキヤ論ヲ俟タス

(丙) 決闘其他故意ノ所爲ニ因リテ死亡若クハ病傷ヲ招キタルトキ 故意ノ所爲ニ因リテ生シタル危險ハ保險者ノ負擔スヘキモノニアラサルコトハ一般ノ原則ナリ從テ生命保險ニ於テモ斯ル場合ニ於ケル危險ハ保險者ニ負擔ノ責ナシトス而シテ又普通ノ能力者カ故意ニ自殺シタル場合ニ於テモ猶ホ保險者ニ賠償ノ責任アラサルコト何人モ疑ハサル所ナリ又人カ誤テ死亡シタルトキ例ハ滋養物ト信シテ毒物ヲ食シ爲メニ死亡若クハ病傷ヲ招キタル場合ニ在リテハ保險者ハ賠償ノ責任ヲ有スルコトハ是レ亦何人モ疑團ヲ容レサル所ナリトス然レトモ無能力者ノ自殺ニ關シテハ古來學說ニ派ニ分レテ未タ一定セス其第一說ニ曰ク「自殺ノ目的ヲ達センカ爲メニ苟モ任意ニ出テタル所爲ニシテ其目的ニ相當スル方法ナルトキハ之ヲ行ヒタル者カ其所爲ノ道德上ノ性質ヲ理解スルノ能力ナキモ尙ホ保險者ハ賠償ノ責任ヲ免カル、モノナリ然リト雖モ若シ物理上ノ性質ヲモ理解スヘキ能力ナキトキハ保險者ハ其責ヲ免カル、コトヲ得ス」下次ニ其第二說ニ曰ク「如何ニ故意ノ所爲ヲ行フトモ其當時抑制スルコト能ハサル

感動ノ爲メニ之ヲ行ヒ道德上ニ於ケル其所爲ノ性質如何ヲ知ルノ能力ナキトキハ保險者ハ決シテ其責任ヲ免カル、コトヲ得ス」ト第一說ハ從來裁判例及ヒ多數ノ學說ノ採用セル所ナリシカ今日ニ於テハ第二說其勢力ヲ占ムル傾向アリ要スルニ苟モ精神能力ヲ喪失シタルモノカ自殺シタル場合ハ縱令故意ヲ以テ之ヲ行フモ尙ホ保險者ハ其責ヲ免カル、コトヲ得サルモノトス

以上講述シタル三个ノ原因ハ何レモ生命若クハ健康ヲ保險ニ付シ又ハ付セシメタル者カ之ヲ作爲セル場合ニノミ適用スルモノニシテ此等ノ者ニ關係ナキ第三者ニ於テ其原因ヲ作成シタル場合ニハ之ヲ適用シ得サルモノトス而シテ其(三)ニ說述シタル事項ハ元來公益上ノ理由ニ基因スルモノナルカ故ニ良シヤ當事者間ニ於テ反對ノ契約ヲ取結フトモ全ク其効力ヲ有スルコトナシ

商法第六百八十四條ニ依レハ保險ノ無効ハ保險者カ契約ノ無効ヲ致ス情況ヲ知リタル後尙ホ契約ヲ被保險者ト繼續シタルトキハ保險者ヨリ被保險者ニ對シテ

之ヲ主張スルコトヲ得ス」トアリ蓋シ此規定ハ保險者ヲ保護スルノ精神ナルヲ以テ保險者ハ該契約ヲ無効トスルモ將タ繼續スルモ其自由ニ屬ス然レトモ若シ其權利ヲ行ハスシテ依然契約ヲ繼續スルトキハ其權利ハ之ヲ拋棄シタルモノト看做スカ故ニ後ニ至リテ無効ヲ主張セントスルモ能ハサルハ喋々ヲ要セスシテ明瞭ナル所ナリ

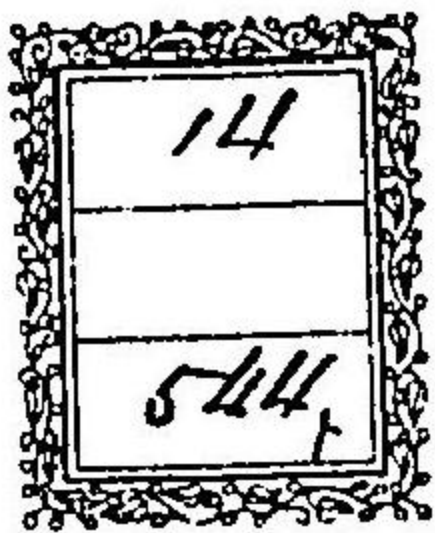
次ニ商法第六百八十三條ノ規定ニ依レハ總テ保險無効ノ場合ニ於テ特ニ保險契約ヲ以テ保險者ヨリ被保險者ニ償還スヘキ金額ヲ約定シタルトキハ勿論之ヲ償還スルノ義務アリ若シ又何等ノ特約ナキトキハ保險者ハ少クモ被保險者ノ積立テタル貯金ノ半額ヲ償還スルノ義務アリ但シ被保險者カ詐欺又ハ惡意ニ因リテ自ラ無効ニ至ラシメタルトキハ例外トス又第六百八十八條ニ依レハ生命保險ニ於テハ被保險者若クハ其權利承繼人ハ正當ノ時期ニ豫告ヲ爲ストキハ契約ヲ解除スルノ權利ヲ有シ且ツ保險契約ヲ以テ定メタル金額若クハ積立金ノ半額ヲ保險者ヨリ償還セシムルノ權利アリ若シ被保險者カ右ノ償還ヲ受クルコトヲ欲セサルトキハ則チ之ヲ利息付ノ預金ニ變換スルノ權利ヲ有ス而シテ保險料ノ不

拂ノ如キハ保險者ニ於テ之ヲ契約解除ノ豫告ト看做シ得ルモノナリトス此二個條ノ規定ハ普通保險ノ原則ト大ニ異ナリ又普通契約ノ規定トモ全ク相容レサル所ナリ

我商法ハ何カ故ニ斯ル特別ノ規定ヲ設ケタルヤト云フニ是レ畢竟生命保險ノ特性ニ基ツキタルモノナリトス即チ(第一)生命保險ニハ貯金ノ性質アルコト(第二)生命保險ハ一般ニ其期限長クシテ十數年若クハ終身ノ久キニ亘ルモノアルカ故ニ被保險者ニ於テ屢々之ヲ解除スルノ必要ヲ生スルコトアリ例ヘハ子孫ノ爲メニ自己ノ生命ヲ保險ニ付シタルニ其子孫カ却テ自己ニ先チテ死亡スルコトアランニハ最早保險ヲ繼續スルノ必要ヲ見サルカ如シ斯ル場合ニ於テハ被保險者ハ通常其保險契約ヲ解除センコトヲ欲スルナリ是故ニ現行生命保險ノ約款ヲ見ルニ通例被保險者ハ其契約ヲ解除スルコトヲ得ヘク若シ之ヲ解除シタルトキハ積立金ノ幾部ハ保險者ヨリ之ヲ返還スヘキモノト爲セリ之ヲ要スルニ我法律ニ於テハ生命保險ニ積金ノ性質アルト現行契約上ノ慣習トニ依リ斯ル規定ヲ設ケタルモノナルヘシ

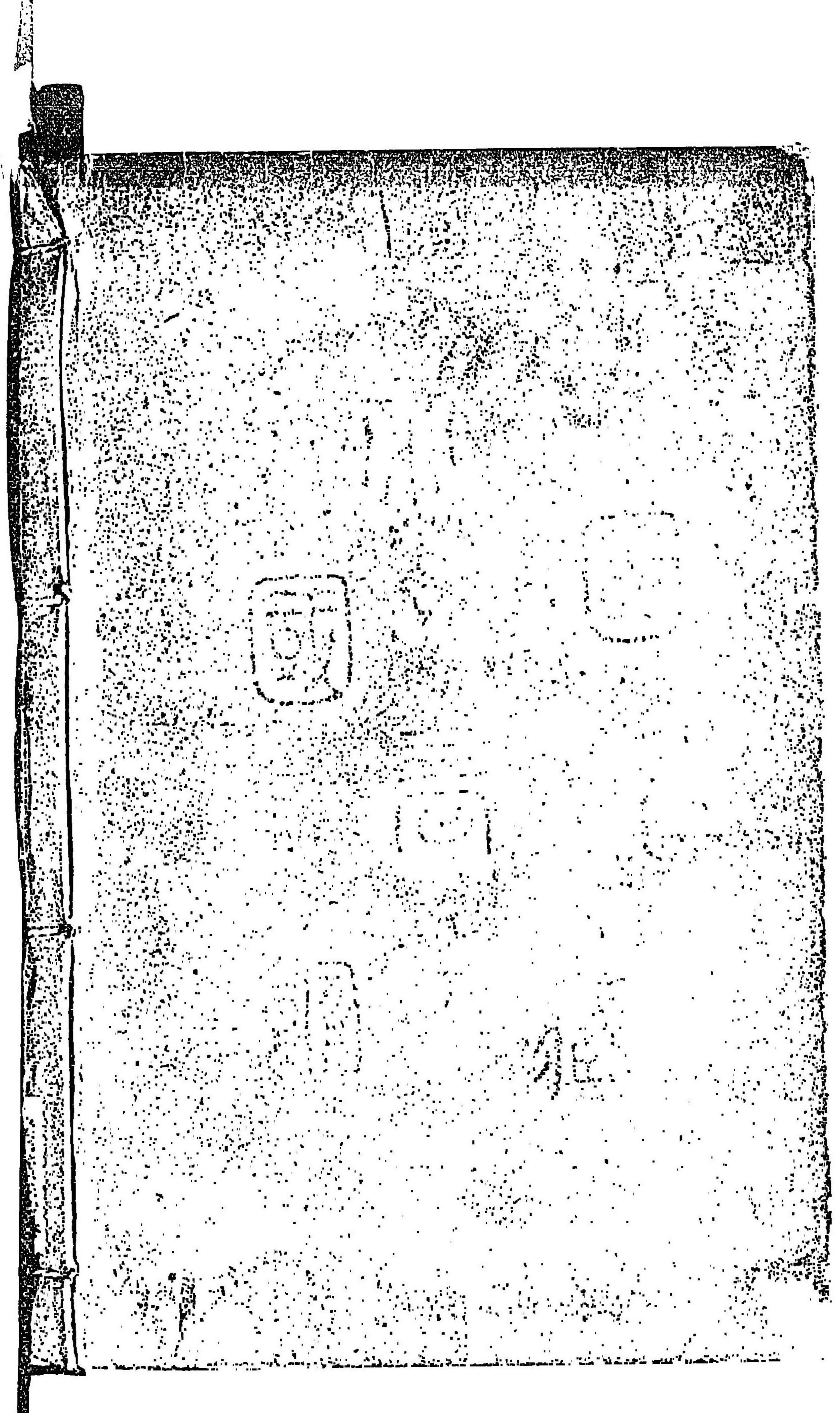
以上既成商法ニ於ケル保險法ノ規定ヲ講了シタルヲ以テ茲ニ斯法ノ講筵ヲ閉ツヘシ

保險法(完結)



14
544

P/123
1/2



東京法學院
講義錄

保險法

馬場 愿治 講

14

544

M

035444-000-0

14-544卜

保險法

馬場 愿治/述

M29?

BBO-0644

